

Anniversary 35th
Chigasaki JC 2003



茅ヶ崎青年会議所創立総会

目 次

35周年を迎えて	2
祝 辞	4
(社)茅ヶ崎青年会議所35年のあゆみ.....	12
1998年度.....	14
1999年度.....	16
2000年度.....	18
2001年度.....	20
2002年度.....	22
例会記録	24
35周年記念式典	26
サザンビーチフェスタ'03	27
特別会員紹介	31
正会員紹介	35
編集後記	36

ご挨拶



社団法人 茅ヶ崎青年会議所
理事長 山本 哲

本年、社団法人茅ヶ崎青年会議所は創立35周年を迎えることが出来ました。これまでの長きに亘り多大なるご支援ご協力を賜りました、皆様方に心より深く御礼を申し上げます。青年会議所運動は戦後の混沌とした時代に「明るい豊かなまちの実現」を目指し、全国にその灯はともりました。そして、半世紀を遡る歴史のなかで地域にあった「まちづくり運動」が各地で展開されています。

社団法人茅ヶ崎青年会議所は1968年の12月に、自己の修練と市民の共感を求める社会開発運動の理想に燃えた若さあふれる新しい集団として、この地、茅ヶ崎に53名の同志により全国で404番目の青年会議所として誕生を致しました。

そして、本年は昨年策定を致しました「社団法人茅ヶ崎青年会議所 行動指針」のスタートの年として、我々が提言する茅ヶ崎のまちのビジョン「ちょっとオシャレな湘南 新・茅ヶ崎ライフの創成」の実現に向けた、「魅力ある茅ヶ崎J.Cの創出」を目指し、その一歩を踏み出してまいりました。創立35周年記念事業として開催した「サザンビーチフェスタ'03」は、茅ヶ崎の「らしさ」「ならでは」を追求し、「サザンビーチちがさき」に誇りと愛情を育む運動として、テーマ「LOVE and PRIDE」を掲げ、茅ヶ崎市をはじめ関係友好団体の皆様や多くの企業のご理解とご協力をいただき開催することが出来ました。この事業を通じて、私達のまち「茅ヶ崎」が今まで以上に多くの方々に愛されることを望んでおります。

これからも社団法人茅ヶ崎青年会議所は、この茅ヶ崎^{まち}に誇りを持ち愛情を育む運動を展開し、次代を担う子供達のために、自然と文化に恵まれた茅ヶ崎のまちを更に魅力ある素晴らしい茅ヶ崎^{まち}として残していけるように、まちづくり運動に取り組んでまいります。そして、ただ単に地域社会に存在する問題を解決する集団としてではなく、「明るい豊かなまちの実現」に向けた、一つひとつの課題を若者らしく創造していく集団として決意を新たに邁進してまいります。

今後とも、皆様方よりの益々のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

35周年を迎えて



社団法人 茅ヶ崎青年会議所
シニアクラブ
会 長 添 田 高 明

茅ヶ崎青年会議所の35周年を、心よりお喜び申し上げます。

歳月のながれは早いものです。5年前の30周年の式典が、つい先日のように思えてなりません。

5年ごとの周年の式典には、皆それぞれ思い出があり、そのひとこまを大変なつかしく思っておられるOB、メンバーも多いことと存じます。

創立当時と現在では、社会情勢の変化、価値観の相違などから、ものの考え方などが異なってくるのは当然であります。JCにおける、自己修練、奉仕、友情の精神は不変なものだと確信いたします。

さて、長引く平成大不況、教育をはじめとする様々な青少年問題、来るべき高齢化社会への対応、地球環境、国際協調等さまざまな課題を抱えるこの混沌とした時代において、新しい感性と若い情熱によって夢と希望の持てるLOMの事業活動を大いに期待するわけではあります。自己修練を主眼におき、肩ひじを張らずに、事業なり、役割なりに取り組んでいただきたいと希望いたします。

今後とも、この35周年を礎に、地域に根ざした、愛される青年会議所として更なる発展を期待いたします。

※添田先輩におかれましては、2003年8月27日にご逝去されました。ここに謹んでご冥福をお祈り致します。

祝 辞



神奈川県知事 松 沢 成 文

社団法人茅ヶ崎青年会議所が、創立35周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

茅ヶ崎青年会議所の皆様は、昭和43年の設立以来、次代を担う青年経済人として行動力を発揮され、地域社会の発展のため、幅広い活動を実践しておられます。そして、市民の先頭に立ち「明るい豊かなまちづくり」の実現に大きく貢献してこられました。

歴代の理事長や役員の方々、そして会員の皆様方の熱意とご尽力に深く敬意を表します。

「サザンビーチちがさき」をはじめとした豊かな自然に恵まれ、活力に満ちた魅力的な都市・茅ヶ崎は、本年4月から特例市に移行し、地域の特性を生かした個性あふれるまちづくりが、より住民の皆様身近な形で推進されるようになりました。

県では、こうした地方分権の流れはもとより、時代の激しい変化に対応して、「地域主権の県政」、「県民の目線に立った県政」、「新しい時代を拓く県政」という3つの基本的考え方の下、「21世紀を拓く活力と魅力ある神奈川」を築くため、新たな総合計画の策定に取り組んでおります。

新しい時代の県政にとりまして、地域に根差した、若さあふれる皆様の「まちづくり」活動は、大変貴重な推進力であり、今後とも、皆様方の積極的な取組みを期待しているところでございます。共に力を合わせ、素晴らしい地域づくりを進めてまいりましょう。

創立35周年を契機として、茅ヶ崎青年会議所のさらなるご発展と、会員の皆様の一層のご活躍を心からお祈りして、お祝いの言葉といたします。

祝 辞



茅ヶ崎市長 服部 信明

社団法人茅ヶ崎青年会議所創立35周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

昭和44年4月に、より良い社会を築き上げていこうという理想と情熱をもった方々により、全国で404番目の青年会議所として創立され、以後35年の長きにわたり、若い世代の方々が、崇高な理想のもとに相集い、「社会への奉仕」と「個人の修練」を目指して、産業・文化・経済の各般に亘る研究と、社会奉仕の事業を推進されますことは、喜びにたえないところでございます。

歴代の理事長様はじめ役員、会員の皆様の今日までの並々ならぬご尽力に対し、深く敬意を表しますとともに、本市商工業の発展はもとより、まちづくり全般に関しまして大きくご貢献いただいてまいりましたことに、心より感謝申し上げます次第であります。

今後も、本市各方面の前途有為な青年諸氏によって、本市経済・文化・市政のあらゆる分野に清新の気風を吹き込んでいただくことを期待する次第であります。

古今東西を通じて、新しい社会・新しい時代は、新しい感覚と若い情熱によって創りあげられてきたことは、歴史の物語るところでございます。「明るい豊かなまちづくり」を標榜し活動を続けられている皆様方の取り組みは、まさに今の時代背景の中で、無くてはならないものであると感じるところであります。

茅ヶ崎市におきましては、「自然と人がふれあう心豊かな快適都市茅ヶ崎」の実現を目指し、活力と魅力あふれる商工業の振興に努めているところであります。これからも、次世代に自信を持って伝えることのできるあたたかいまちづくりを進めてまいりますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

社団法人茅ヶ崎青年会議所におかれましては、35周年を契機にさらに歴史を積み重ねられ、大きく発展されますことを心から祈念申し上げましてお祝いのことばとさせていただきます。

祝 辞



茅ヶ崎商工会議所
会 頭 大 村 日出雄

社団法人茅ヶ崎青年会議所の創立35周年にあたり、心よりお喜び申し上げます。

貴会は、昭和43年12月創立以来、青年としての英知と勇気を持って、新しい日本の進路を切り開こうとする創始精神を受け継ぎ、地位社会の青年指導者として、明るい豊かな社会の建設に輝かしい数々の事業を展開され成果を挙げられました。ここに記念すべき年を迎えられましたことは誠にご同慶の至りであり、歴代理事長をはじめ、会員各位のご熱意に対しましては深く敬意を表します。

また、私ども商工会議所にも、青年会議所のOBとなられた会員が、議員並びに青年部において活躍されている方も多数おられ、心強い限りです。

さて、今日のわが国は、大きな転換期を迎えております。長引く不況、来るべき高齢化社会への対応、地球環境保全、国際協調等さまざまな課題に対して、新たな対応が迫られており、商工業者とりわけ中小企業を取り巻く環境は、かつてなく厳しく、商工会議所の使命、役割はますます重いものがあります。同時に、当市にとって本年は、昨年度検討してまいりました茅ヶ崎TMO構想の実現へ向けての第一歩の年となります。世の中が厳しい時代であればこそ、地域社会が一体となり将来に向かって、夢と希望を持てる街作り活動こそ青年会議所の存在価値があると思います。時代を背負う若い力の結集が必要であり、貴会の行動力を大いに期待しております。

最後になりましたが、貴会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。

祝 辞



社団法人 日本青年会議所
会 頭 揚 原 安 磨

社団法人茅ヶ崎青年会議所が本年、創立35周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げますと共に、これまでの礎を築いて来られました先輩諸兄をはじめ、日頃お支えいただいております関係各位のご活躍に深く敬意を表します。

貴青年会議所は1968年12月、全国404番目のLOMとして設立され、茅ヶ崎市周辺のまちづくり・ひとづくりの主役としてJC活動を展開され、率先して地域に貢献して来られました。

JCの歴史の中で、今ほどその存在価値が問われている時代はありません。日本のあらゆる価値観が前提を失いつつあり、同じような「志」を持ったNPOが全国各地で活動している現在でも、今の時代に今の時代のやり方で、JCが担うべき、JCの存在価値があるはずです。それは他のものでは代えがたい、尊い価値であるはずです。私たち自身がそれを確信し、JC運動に関わっている誇りと喜びを胸に、一人ひとりの精一杯のJCを結集していきましょう。全ての人の心の中には、人の役に立ちたいという「貢献する心」があります。自らのためでなく、自分以外のために行動できることは、人が人である大きな要素であり、人生を豊かに生きるためにも大切なことです。

また、地域社会からみたJCへの期待が、今ほど実質的になってきている時代もあります。自分の「貢献する心」を目覚めさせ、市民と行政の架け橋となるべく、既成の概念にとらわれない「新次元へのBreakthrough!」を目指してください。それがひいては「日本改新」へとつながっていくのです。

これからも山本哲理事長率いる社団法人茅ヶ崎青年会議所の皆様が、LOM35年の資産を生かしながら、夢の実現に向かって新たな真価への一步を踏み出されることを心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



社団法人 日本青年会議所
関東地区協議会
会長 高橋 祐介

創立35周年、誠におめでとうございます。関東地区内11,000名を代表してお祝い申し上げます。

(社)茅ヶ崎青年会議所は、本年度は山本哲理事長のもと、「"We are The Team" ～心をひとつに、希望に満ちた夢への出発～」をスローガンに日夜JC運動を進め、又、記念事業「サザンビーチフェスタ'03」として「ふれ"愛"あふれるメッセージの発信!」を開催され市より感謝状を受けられるなど、地域でも素晴らしい活躍をされております。

これはまさに、35年の歴史を築かれた先輩諸兄をはじめ現役メンバーの並々ならぬご努力の賜物と敬意を表します。

さて、JCは、誕生から50余年を経った今でも、手法こそ変われども、目指すべき方向である『明るい豊かな社会の実現』へ向けて運動をしています。

そのためにも、我々は、人間としての成長を自分だけのものとせず、他人にもよい影響を与えられる団体であり続けたいと考えます。何かに立ち向かうときには、常に勇気を持ちやる気・気概を胸に秘めていたい。そして、どんなときにも希望・夢を追い求める青年でありたいものです。

本年、関東地区協議会は、『勇気とやる気と希望にあふれる関東地区!! すべては11,000名のために』を基本理念に活動しております。

人が触れ合い、学びあうことの出来る場である関東地区を大いに活用ください。そして、地域の将来について大いに語り合おうではありませんか。

ここに35周年を迎え、先人が築いてきた歴史を振り返り、次なる40周年に向けて、更に光り輝く茅ヶ崎地域の未来のために、着実に歩み続け、地域になくてはならない存在として邁進されることをご祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



社団法人 日本青年会議所
関東地区
神奈川ブロック協議会
会長 伊藤 信吾

社団法人茅ヶ崎青年会議所の皆様、創立35周年誠におめでとうございます。神奈川ブロック協議会21LOMの会員を代表して、心よりお祝い申し上げます。

創立以来、35年にわたり、青年会議所運動を通じて地域社会の発展にご尽力され、現在に至るまで社団法人茅ヶ崎青年会議所の歴史と伝統を築き、受け継がれてこられた歴代理事長をはじめといたします諸先輩方、現役諸氏の皆様の活動に、同じ青年会議所の仲間と致しまして、こころから敬意を表させていただきます。

そして、貴青年会議所の皆様には、常日頃から、神奈川ブロック協議会創立時より多大なるご支援、ご協力を賜っていることも、重ねて厚く御礼申し上げます。

青年会議所運動の原点は、青年としての情熱や新しい発想を生かして地域社会に貢献することにあります。そして、今、まさに地域住民一人ひとりが、自分のまちづくりを真剣に考え、責任を持って、諸問題に対処していくことが求められています。そして、各地においてメンバー一人ひとりが、漫然と活動に参加しているのではなく、青年会議所の意義・役割、メンバーとして何をすべきか、何を学ぶべきかについて、真剣に、考えている時代であります。

青年会議所活動も、より、地域に密着し、地域独自の問題を拾い上げ、青年としての行動力で、地域全体の活力を呼び起こしていかなければなりません。

本年度、神奈川ブロック協議会では「心のネットワーク -21の新しい風-」をスローガンに掲げ、神奈川全域において、地域主権型社会を目指すためのネットワークを広げ、集めることにより、2001年度に策定された行動プランの実践を継続していく所存であります。そして、「顔」の見える運動体として、会員会議所の皆様のお役に立つことを常に意識して、行動していく決意であります。

山本哲理事長を初めといたします社団法人茅ヶ崎青年会議所の皆様が、本年の「We are The Team-心をひとつに、希望に満ちた夢への^{たびだち}出発-」のスローガンのもと、創立35周年を機に、更なる未来に向けて力強い一步を踏みだし、様々な発想・情熱を持ち寄って、まちづくり運動を展開され、そして、ますます茅ヶ崎の地域が輝きを増すことをご祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。

祝 辞



社団法人 平塚青年会議所
理事長 三 荒 弘 道

社団法人茅ヶ崎青年会議所の皆様、創立35周年誠におめでとうございます。社団法人平塚青年会議所全会員を代表し心よりお祝い申し上げます。

1969年の設立以来、現在の社団法人茅ヶ崎青年会議所のまちづくり運動を築かれてこられた歴代理事長を初めと致します多くの諸先輩、現役諸兄のご尽力に深く敬意を表させていただきます。

さて、長期にわたる経済の停滞とNPOを代表とする高い志を有する市民活動の台頭は、少なからずとも各地青年会議所に影響を与えていることは間違いない事実であります。しかし戦後の焼け野原に灯された小さなまちづくりの志が、瞬く間に全国に拡がり地域の篝火となっていったJC運動は、市民運動の先駆けたるものであったと同時に、JAYCEEは正に市民（シチズン）そのものであります。「地域主権の時代」・「改革の時代」と言われて久しい今こそ、JCの理念を共有し、21世紀に生きる私たち青年が、まちの未来に大きな夢を掲げ、それに挑んで行動し、時代の先駆けになる事こそが、まちの未来に対する責任と考えます。青年会議所が築いて来た「このまちのために…」というパブリック精神は「不変」であると確信すると共に、21世紀こそまさにJAYCEEが飛躍する時代なのであります。

21世紀…。市民が主役の時代が到来します。中央集権型社会システムの歯車が咬み合わなくなろうとしている現在、「みんなのことはみんなで」という責任意識をもった市民が、このまちの未来を光り輝くものとする時代だと実感しています。「個人」ってなんだろう？「公」ってなんだろう？21世紀社会はまさに「個と公」が調和するべき時代です。それは地域を育む私たち1人1人に突きつけられた大きな問題なのです。公事を他人事で済まらず、常に自分自身の問題に置き換え、例え小さな行動にすぎなくても、その行動貫く意志(will)が今こそ必要だと考えます。

山本 哲理事長率いる社団法人茅ヶ崎青年会議所の皆様が、創立35周年を契機として、茅ヶ崎の輝く未来を創造すべくご活躍下さいますことをご期待申し上げますととも、私たちが社団法人平塚青年会議所と致しましても、親LOM子LOMとしての関係は元より、お隣のLOM同志として今後とも更なるお付き合いの程をお願い申し上げます。

最後に社団法人茅ヶ崎青年会議所の愈々のご発展をご祈念申し上げ、お祝いの挨拶とさせていただきます。

祝 辞



社団法人 津青年会議所
理事長 小林 一 仁

社団法人茅ヶ崎青年会議所が、創立35周年を迎えられましたことを姉妹JCであります社団法人津青年会議所会員一同を代表いたしまして、心からお祝い申し上げますと共に、本日に至るまで35年の伝統を引き継いでこられた諸先輩の方々、現役諸兄のご尽力による輝かしい足跡に対しまして、心より敬意を表させていただきます。

貴青年会議所とは、1983年5月に姉妹締結をされてから今日までの20年間、互いのJC運動を理解し刺激し合い、また互いの事業への参加などを通じて情報交換と会員交流を深め、熱き友情を築いて参りましたことは、すばらしい財産になっているものと確信しています。

さて、貴青年会議所は"海"と"音楽"と"愛"を軸に、市民・市民団体・行政と共に共働し、素晴らしい「まちづくり運動」を実践されてきました。とりわけ本年の創立35周年記念事業「サザンビーチフェスタ'03」の成功は、"We are The Team"のスローガンのもと、メンバーがこころをひとつに取り組んだ賜だと感銘し、我々のJC運動の励みとするところであります。

近年めまぐるしく変化し、混迷を続ける経済状況、行き先不透明な社会情勢の中、私たちを取り巻く環境は非常に厳しいものがあるのが現状です。しかしながらこんな時代だからこそ青年会議所の果たすべき役割を明確にし、持てる力を存分に発揮することが大切になっています。どんなに時代が変われども青年会議所の存在意義は不変であると信じます。

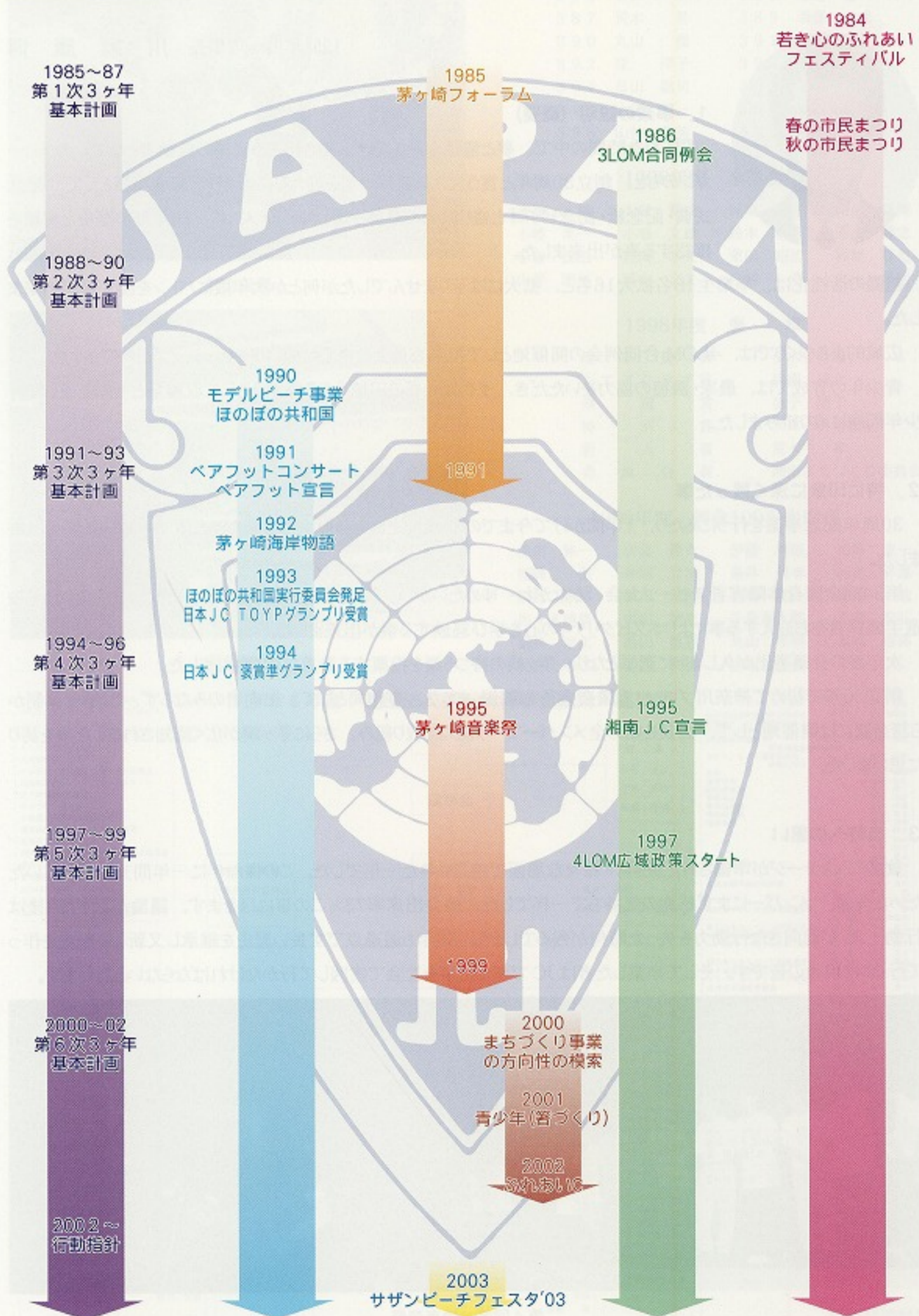
互いの青年会議所は、姉妹JCとしてまたパートナーLOMとして、今後も情報交換を密にし、同じベクトルに向かって着実に一步一步進んで行きましょう。

最後に、山本哲理事長率いる社団法人茅ヶ崎青年会議所の会員ひとり一人が35年の歴史を再認識し、社団法人茅ヶ崎青年会議所会員であることに誇りを持ち、JC運動に邁進されますことをご祈念申し上げます、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

(社)茅ヶ崎青年会議所35年のあゆみ

年 度	理事長	主 な 事 業
1968	山口 達郎	12月7日 創立 (パシフィックホテル)
1969	山口 達郎	4月 日本J C入会認証
1970	坂野 泰巨	第1回記念植樹 青少年会館にマキの木250本植樹
1971	水谷和一郎	「青年の船」神奈川県と共同開催
1972	亀井 文夫	「青少年の自由ひろば」の設置運動
1973	大村日出雄	市民アンケートの実施
1974	山田 英夫	クリーン茅ヶ崎講演会
1975	熊沢 孝之	盲導犬育成募金活動
1976	熊沢 秀雄	第一回中学校演劇発表会
1977	桜井 明彦	10周年記念事業企画立案 第2回中学校演劇発表会
1978	田中 晴男	創立10周年「市民の森アスレチック広場」を建設、市に寄贈
1979	安斉 克彦	チャリティーコンサート加山雄三ショー
1980	永野 良夫	企業訪問 第三回中学校演劇発表会
1981	熊沢 信行	市民の森アスレチック広場の増設
1982	宮沢 靖磨	神奈川ブロック会員大会主管「夢で語ろう茅ヶ崎千七百の心と友情」
1983	稲岡 輝雄	創立15周年「ふれあい15周年、そして未来へ」 津J Cと姉妹締結
1984	下里 淳二	若き心のふれあいを中心とした青少年の育成
1985	栗栖 秀幸	チャリティーショーの開催
1986	薬品 孝久	O B合同例会の開催
1987	都築 和男	チャリティー事業の開催
1988	脇 洋一郎	創立20周年「ロードパーク湘南」を建設 (創造の杜)
1989	原田 進	8 L O M合同例会開催
1990	島崎 隆行	「ほのぼの共和国」開国 サーフ90への参画
1991	米山 彰	モデルビーチ構想スタート
1992	塚田 浩蔵	第20回神奈川ブロック会員大会主管
1993	加藤 盛久	創立25周年 日本J C T O Y P大賞グランプリ受賞
1994	数田 亨	日本J C 褒賞準グランプリ受賞
1995	亀井 信幸	日本J C 山本潤会頭公式訪問例会
1996	桐山 章伸	茅ヶ崎のまちのビジョン策定
1997	城田 禎行	市制50周年記念事業「シーサイドフェスティバル」開催
1998	川越 康博	創立30周年記念式典 茅ヶ崎音楽祭 かながわゆめ国体
1999	當間 安弘	第6次3ヶ年基本計画の策定 湘南シーサイドストーリー
2000	池田 雅一	まちづくり事業の方向性の模索 メンバーの能力向上
2001	伊澤 敏典	地域の未来を創造するまちづくり運動の模索 会員の資質向上と組織の充実
2002	神尾 元洋	行動指針の策定 ふれあい「C」

長期計画とまちづくり事業のフロー





1. 事業の説明（概要）

限られた時間の中で、夢と情熱を持ち続け「歩き出そう変革の能動者として」のスローガンのもと。創立30周年と言う大きな節目の年を迎えるに当たり、記念事業として、記念式典・記念紙・記念ビデオと盛り沢山の事業を通して、全メンバー30年間の歴史と実績を確認する事が出来ました。

組織の活性化は、卒業生16名拡大16名と、拡大には至りませんでしたでしたが何とか次年度にバトンを渡す事が出来ました。

広域的まちづくりでは、4LOM 合同例会の開催地として担当委員会を中心に強いリーダーシップが持てました。

青少年の育成では、農家・農協の協力をいただき、子供達と春の田植えから稲刈りそして収穫祭と一年を通して青少年問題に取り組みました。

2. 特に印象に残った事

30周年記念事業を行うにあたり、1年間かけて今までの29年間を検証し歴史と実績を頭と体で体験する事が出来ました。

第34回全国身体障害者スポーツ大会「かながわ・ゆめたいかい」後夜祭開催に準備・本番に携われ、全国からの選手関係者をお迎えする事によりホスピタリティの心を学び経験する事が出来ました。

次年度の会頭選出が久しぶりに選挙となり、茅ヶ崎の持つ5票を投票する貴重な体験をしました。

創立30年で初めて神奈川ブロック協議会会長を輩出しました。事務局として、出向者のみならず、次年度体制から諸会議には開催地として、会長を始め全メンバーで一丸となり取り組み、さらに茅ヶ崎が広く認知されました事を誇りに思いました。

3. 当時への思い

数多くのステージが準備された98年、様々な場面で注目された一年でした。この様な年に一年間支え続けていただいた先輩・メンバーにまず感謝の気持ちで一杯でした。例会出席率73%この事に尽きます。議論が尽きたら後は行動、JC が前向きな行動力を失った時何が残るでしょう。30年も通過点です長い歴史を継承し又新しい歴史を作っていくのは現役の皆です。そして卒業した者はJC で学んだ事を社会で実践して行かなければならないと思います。





例会風景



例会風景

1998年度 入会者

認証番号	氏名	認証番号	氏名
385	石井 明	386	田島 聖一
387	荒木 昇	389	須藤 一成
390	丸山 潤	391	山岸 幸子
392	原 洋子	393	緒谷 保英
394	草山 聡司	395	三川 寛水
396	土田 信一	397	長谷川信治
398	山仲 明美	399	菊池 一夫

1998年度 卒業会員

大高 誠	大塚 寛成	岡崎 保	川越 康博
小嶋 英一	小嶋 文雄	鈴木 泰三	関田 達之
手塚 良治	野崎 幸夫	東田 昭治	藤原 球也
山仲 明美	湯山 文夫	松崎 浩	丸山 孝明

1998年度 褒章

理事長賞	小木曾幹雄
シニアクラブ賞	伊藤 俊介
飛躍賞	金子 朋子
特別賞	ブロック特別室
新人賞	荒木 昇
委員会賞	湘南まちづくり委員会

1998年度 例会100%出席者

池田 雅一	伊藤 俊介	伊藤 均恒	岡崎 圭一
岡崎 保	神尾 元洋	亀井 信幸	河合 幸雄
川越 康博	桐山 章伸	小嶋 英一	櫻井 勉
佐々木晴修	城田 靖之	千葉幸太郎	當間 安弘
徳舛 幸丈	西山 直志	丸山 孝明	本橋 信弥
安井 孝二	山内 和義	山本 哲	

1998年度 社団法人茅ヶ崎青年会議所 組織図



2. 特に印象に深く残った事

茅ヶ崎の海で始まった「茅ヶ崎音楽祭」を原点に戻って、4年ぶりに海で開催いたしました。花火大会、湘南祭サーフィン大会との相乗効果もあり、多くの市民の方に新たな湘南サウンドを楽しんでいただきました。担当委員会には、大きな負担をかけてしまいましたが、すべてが、順風満帆でなかったからこそ、経験ができたこともあり、気づきが得られたはずです。

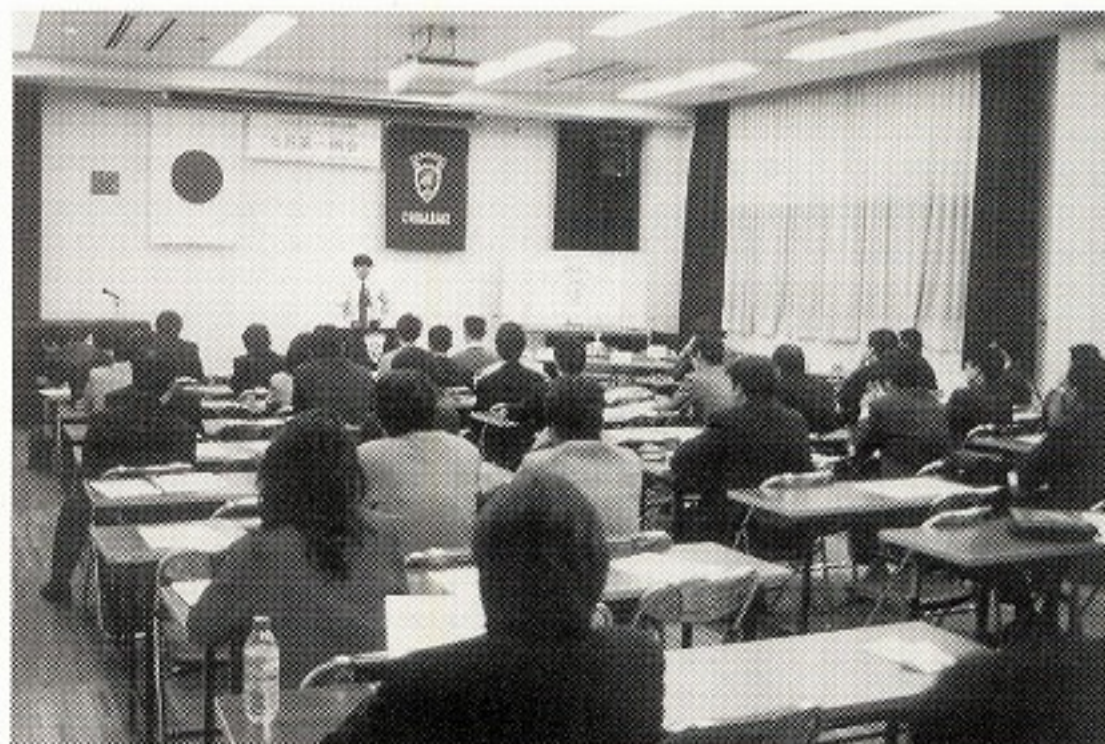
情報のデジタル化においては、当時一步出遅れた茅ヶ崎J Cでしたが、紙の省資源化の観点から、理事会フォーマットを変更いたしました。ハード購入という負担を、一気に強いることなく、デジタル化の下地をつくることにも取り組みました。

例会出席は、会員にとって義務とを感じるか、権利とを感じるか、いずれであっても、出席してくれてこそ、委員会が企画したその例会の意義を感じることができるはずです、そして、企画をしてくれた委員会に、スタッフができることとして、例会の出席率には一番の重点をおいた一年でした。委員会にのみに出席動員をさせるのではなく、副理事長・専務理事そして、自らも取り組むことにより年間を通して、高い出席率を維持することができたことも、一年間の大きな成果でありました。

3. 当時への思い

J Cに入会したばかりの頃、委員長をはじめとする役付きのメンバーが雲の上の存在に見えていましたが、委員長を務め、一つひとつ役職を重ねていくうちに、J Cの役職は、自分の力だけではなく、周りに支えられるからこそ一年間まっとうできるのだと感じました。特に理事長在任中、父が亡くなって、自分自身の活動に支障がきたしたときに、周りには、黙って、多くの行政出向を代理出席してくれていた仲間がいました。改めて、J Cは、お互いが支えあってこそできるのだと実感をすることができました。そして、そんな仲間を持ったことが、現役活動中に例会を休むことなく、卒業をすることができた糧でもありました。

決してすべてに全力投球することはできません。しかし、自分でできる範囲で精一杯のことをすることにより自らを磨けるはずです。新たなステージごとに、少し無理してトライしてこそ、成長があるはずです。少しの無理の積み重ねが、いずれそれが普通になるはずです。家庭・仕事・J Cのバランスを十分考慮し、「ちょっと無理して」J C活動に取り組み、自らを成長させることを実践し、語りかけた一年間でした。



5月第一例会

講師：三藤治喜氏（日本J C会務担当常任理事）



第5回茅ヶ崎音楽祭

1999年度 入会者

認証番号	氏名	認証番号	氏名
400	佐藤 則夫	401	武田 正巳
402	大井 大	403	堀口 昌彰
404	小原 崇史	405	佐藤 正朗
406	五十嵐 準	407	松岡 慶純
408	杉山 正	409	亀井 泰人

1999年度 卒業会員

伊藤 均恒	亀井 信幸	桐山 章伸	斎藤 誠
桜田 敏哉	佐藤 正朗	城田 達美	安武 勝

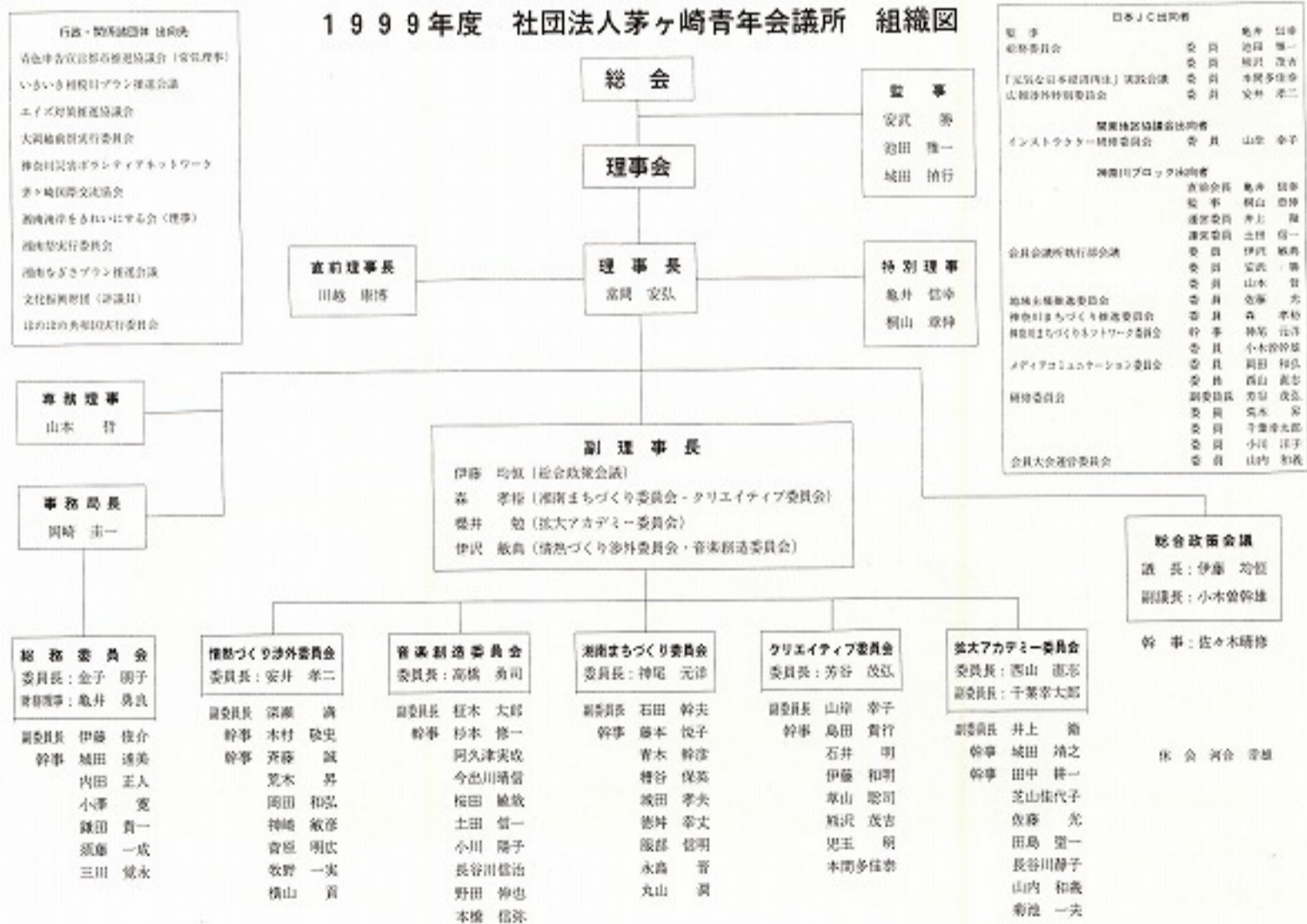
1999年度 褒章

理事長賞	山岸 幸子
シニアクラブ賞	菊池 一夫
新人賞	三川 寛永
飛躍賞	深瀬 満
特別賞	今出川晴信

1999年度 例会100%出席者

池田 雅一	伊沢 敏典	石田 幹夫	伊藤 俊介
伊藤 均恒	岡崎 圭一	金子 朋子	亀井 信幸
川越 康博	菊池 一夫	桐山 章伸	佐々木晴修
城田 禎之	高橋 勇司	當間 安弘	西山 直志
長谷川信治	藤本 悦子	山本 哲	芳谷 茂弘
森 孝裕			

1999年度 社団法人茅ヶ崎青年会議所 組織図





1. 事業の説明（概要）

当時、茅ヶ崎青年会議所ではこのまちの将来あるべき姿として、まちのビジョン「ちょっとオシャレな湘南 新・茅ヶ崎ライフの創成」を掲げていました。それを踏まえて、基本理念を「まちのビジョン実現に向けたまちづくり運動」とし、事業計画の4本柱を、「まちづくり運動の方向性の確認と実践」「内部エネルギーの充実」「メンバーの能力向上」「L O M内外のネットワークの構築」として全メンバーで次代を創る挑戦をした年でした。

2. 特に印象に深く残った事

全ての事業計画・運動はビジョン実現に向けての方向を確認しながら進めてきました。まちづくり会議を中心に、それまで10年間継続的に取り組んでいた、「海の事業」「音楽の事業」を十分検証しました。その積み上げてきた運動を基盤として、まちの現状を把握したうえで、その先の大きな方向性を全メンバーとともに、次の時代にさきがけた事業展開をめざし議論しました。その結果、2001年度以降のまちづくり運動として「地域で育む青少年の未来」をテーマとし、「既成の枠や世代を越えたコミュニティづくり」「活動の場づくり」「魅力ある郷土づくり」を3本の柱として採択することができました。まちのビジョンを再認識して、まちの将来をともに語り合い、夢を描いて、共通の目標を持ってました。ともに汗をかき、議論を戦わせ、酒を飲み、情報交換をする。メンバー間の友情は新たなエネルギーを生み出し、自分を見つめ直すきっかけとなりました。様々な場面で新しい友情の輪を広げることができたのではないかと思います。20世紀最後の年に、21世紀のあるべき姿を全メンバーで思い描けた年であったと思います。

3. 当時への思い

戦後の荒廃した社会。市民生活も企業も、まち全体もが荒れ果てていた時代に、まちの復興を目指し、経済再建に燃えて、新たな時代を担うべく果敢に立ち上がった青年会議所運動。時代の要請であり、戦後の復興に大きく寄与しました。まちにとって、企業にとって、社会にとって、そしてメンバーにとって、存在意義のかたまりであったと思います。そして今、大きなうねりの中で新しい時代を迎えようとしています。青年会議所メンバーが次代の責任世代として、その新しい時代を創造していかなければなりません。人のためになにができるのか、人に喜ばれ地域社会のために何ができるのか。青年会議所としてまちのため、メンバーのための存在意義・必要意義を徹底的に追及すべき時だと思いました。いつもメンバーに、「俺がやらねば誰がやる」「君は組織の中で何ができるのか？ 人のために何ができるのか？ 組織や人から何かを与えられようと思っはいけない。君の行動が組織のエネルギーとなり、君の言動が人の喜びとなる。失敗したっていいじゃないか。J Cメンバーとしての誇りと自信を持って、もう一步踏み出そう。新たな時代を切り開こう。」こんな呼びかけを常にしていたことを

失敗したっていいじゃないか。J Cメンバーとしての誇りと自信を持って、もう一步踏み出そう。新たな時代を切り開こう。」こんな呼びかけを常にしていたことを



2日第 例会



4日第二例会



9月第二例会
講師：堀 威夫氏 (ホリプロ会長)



例会風景

2000年度 入会者

認証番号	氏名	認証番号	氏名
411	小林 雅彦	412	志村 健二
413	城田 英昭	414	高橋 直樹
415	矢野 嘉哉	416	川田 晴一
417	小島 一治	418	鈴木 裕
419	山来 正幸		

2000年度 卒業会員

青木 幹彦	池田 雅一	石田 幹夫	内田 正人
榎木 太郎	山岸 幸子	横山 貢	

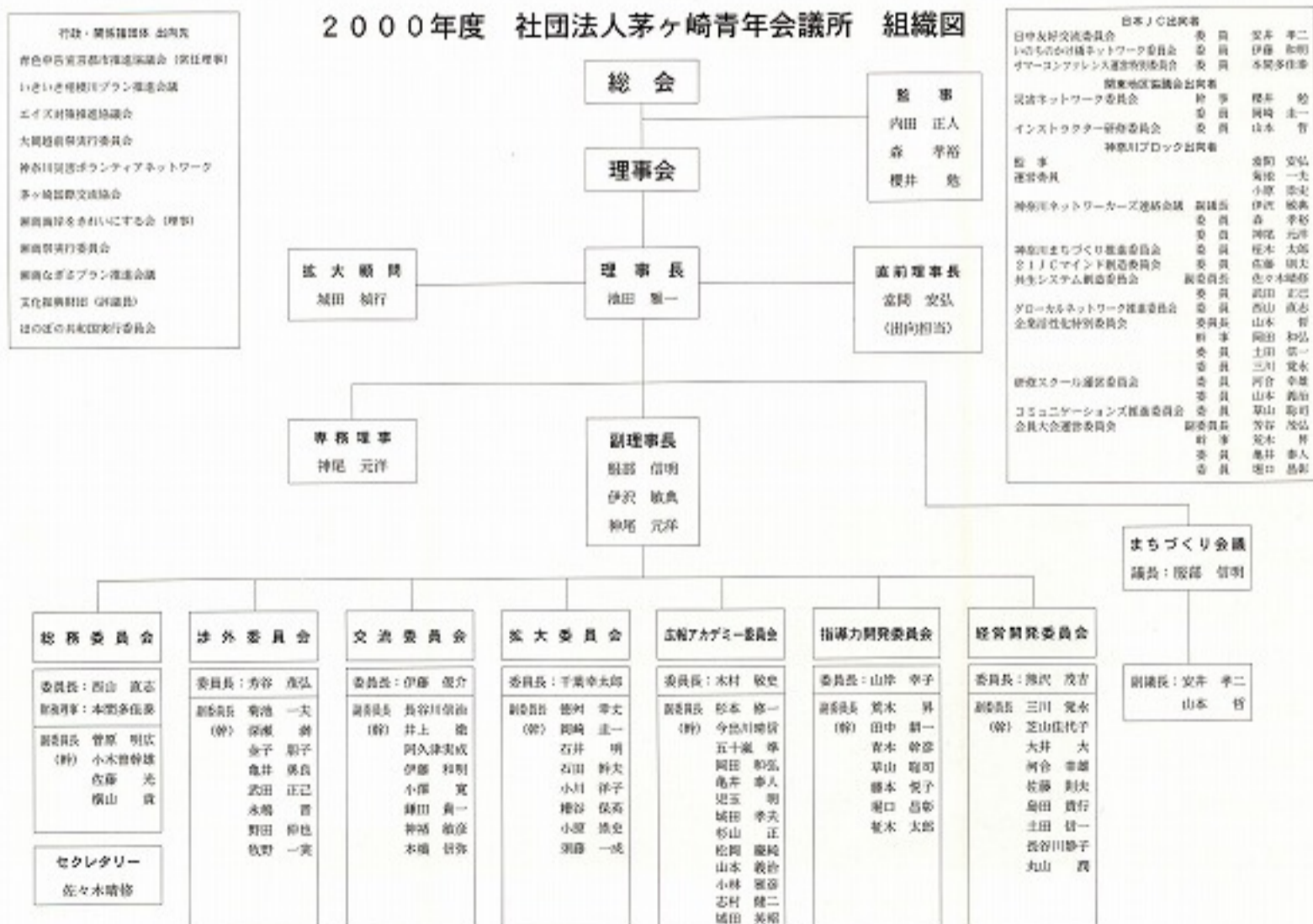
2000年度 褒章

理事長賞	山本 哲
シニアクラブ賞	菅原 明広
新人賞	志村 健二
*	城田 英昭
飛躍賞	藤本 悦子
特別賞	西山 直志
委員会賞	広報アカデミー委員会

2000年度 例会100%出席者

荒木 昇	池田 雅一	石田 幹夫	井上 徹
岡田 和弘	神尾 元洋	菊池 一夫	櫻井 勉
佐々木晴修	武田 正己	千葉幸太郎	當間 安弘
徳外 幸丈	西山 直志	長谷川信治	三川 寛永
森 孝裕	山本 哲	芳谷 茂弘	

2000年度 社団法人茅ヶ崎青年会議所 組織図





1. 事業の説明（概要）

「信頼と友情が育む、魅力あるJC運動の実践、心の充実から育む21世紀のまちづくり」を基本理念に、「築こう、心の絆、歩み出そう、21世紀の第一歩」をスローガンに掲げ、会員の資質向上と組織の拡充、会員拡大と人材育成を基本方針に、内部充実を図り、社会性、公共性を磨き、地域の未来を創造するまちづくり運動の模索として、「家庭」「学校」「地域」融合したまちづくりを学び、親子に焦点を絞り、もの作りにおける達成感や楽しさを共有することから親子間・親子同士のコミュニティづくりを意図して、9月・11月と継続的に事業を企画しました。

2. 特に印象に残った事

2001年度は、次の時代を築く一つの変革期を迎えていました。50周年を迎えた(社)日本青年会議所の新JC宣言の策定、関東地区協議会の新生21アクションプラン、神奈川ブロック協議会の21世紀行動プランの策定、それぞれの協議会で、時代の変化に対応し、これからも魅力ある団体として活動して行くために、我々は何者なのか、どこに向かおうとしているのかを、これからの青年会議所を、真剣に考える機会を頂いた一年間でした。

LOM内でも、まちづくり事業では、「家庭」「学校」「地域」の現状、事業への理解と目的の共有化を図るために、多くの議論に時間を費やしましたが、メンバー個々の環境の違いもあり、具体化されるまでには共通の認識を図ることが出来ませんでした。また、理事会や懇親会、各種大会など、より魅力的なJC活動をするために、自ら語り、心で感じて、共に活動できるようこと、熱く語り合う時間、場作りに努めた一年でした。

3. 当時への思い

21世紀最初の年、私にとっても大きな節目の年となりました。数々のステージも有り、様々な経験をさせて頂き、これからの青年会議所運動を考える年でもあり、これからの人生を考える年でもあったと思います。議論を重ねてきた、青少年の事業は、自分の力不足とメンバー個々の生活環境の違いにより、共通の認識を得ることは、出来ませんでした。ただ、混迷の時代だからこそ、私達世代が、何を考え、今をどう生き、どう行動するかが、次世代を担う子供達の将来を創造する事になると思います。

責任世代の私達が、地域社会の一員として、市民として、親として、子供達の将来は、自分たち自身が参加し、参画して創るといふ、自覚をもって行動することが大切あり、地域と共に今、必要なまちづくりは何かを考え、そのニーズに対して、青年会議所としても、成すべき事、提供できる事を、新しい可能性を、創り出していく運動にしなければならぬと今でも感じています。

この経験を生かして、湘南の、茅ヶ崎の市民として、地域の一員として、今後も活動して行きたいと思っています。



9月第二例会 箸づくり



11月第一例会 おもちゃづくり



3月第二例会
講師：新妻比佐志氏（諏訪JC・OB）



7月第一例会
講師：千田和明氏（㈱エブリデイ・アクスプレス）

2001年度 入会者

認証番号	氏名	認証番号	氏名
420	岡本 修二	421	清水 雅広
422	富岡 俊輔	423	鈴木真奈美
424	小林 貢太	425	和田 隆之
426	岸 善一		

2001年度 卒業会員

伊藤 和明	小澤 寛	亀井 勇良	児玉 明
城田 孝夫	服部 信明	本橋 信弥	森 孝裕

2001年度 褒章

理事長賞	菊池 一夫
シニアクラブ賞	三川 覚永
新人賞	岡本 修二
特別賞	鈴木 裕
委員会賞	総務委員会
	交流渉外委員会

2001年度 例会100%出席者

荒木 昇	伊澤 敏典	井上 徹	神尾 元洋
菊池 一夫	小木曾幹雄	佐々木晴修	城田 英昭
鈴木 裕	千葉幸太郎	當間 安弘	徳舛 幸丈
長谷川信治	松岡 慶純	三川 覚永	森 孝裕
安井 孝二	矢野 嘉哉	山本 哲	山本 義治

2001年度 社団法人茅ヶ崎青年会議所 組織図





1. 事業の説明（概要）

地域に開かれたJCを目指して、原則としてすべての事業・例会を公開し、地域の人々と共に学び、JC活動の存在意義や歩むべき道を考える機会を積極的につくりあげてきました。主な事業として、①地域内でのコミュニティづくりを目的とした体験事業 ②渡辺元智監督や丸山浩路氏らをはじめとする講師による多数の講演会 ③まちの誇りとするものを考える例会 ④湘南市合併について考える例会 ⑤青年会議所PR事業 ⑦今後の茅ヶ崎JCの歩む道しるべとなる行動指針の策定。などに取り組みました。

2. 特に印象に残った事

講演会を開催する際、JCの事業費のみでなく地域とのネットワークづくりの一環として、委員会メンバーが多くの団体を回り協賛金を集め、そこで繋がりをもった人々により当日会場が満員になったことや、地域の子供達との交流事業で、公共施設を借りる際に対応ミスがあり苦勞をしたこと、また、日頃JCの内部では通用していた考え方が、一般的には不自然に受けとめられてしまったことがありました。

数々の事業を展開して行く中で、多くの人々とかわりながら、様々な問題を解決していくことの難しさを実感し、それを乗り越えてこそ、はじめてより良いまちの達成がなされるのだということを実感できた年でした。

また、日本青年会議所地域の教育推進委員会にはじめて委員長として當間特別理事を輩出し、その他、半数近いメンバーが日本JCやブロックへ自ら志願して出向をしたこと。本当に多くのメンバーが精一杯活動してくれたことにより素晴らしい事業が展開できた一年でした。

3. 当時への思い

近年の経済状況や様々な社会問題に対し、まず、私達一人一人が行動を起こさなければならぬ何も変わらないのだという思いが強かった。そのためにJCとしても組織の都合で物事を解決しているだけでは、何も前には進まないということ。とにかく全メンバー、すべての事業を人々にオープンにすることによって、今まで見えなかった問題点や今後進むべき道を見つけ出す必要があると感じていました。

そのために、スローガン『OPEN YOUR MIND』のもと、メンバー一人一人が意識を地域に向け、積極的な活動を展開しました。それは私達JCの活動を多くの人々に知らせることにもなり、また、私達の行動は多くの人々を刺激し、地域を変えていく原動力となりうる可能性をもっています。

JCの存在意義は、組織の中だけではなく、組織の外にもある。だからこそ私達JCは、外部の人々の意見を積極的取り込んでいく必要があるということ強く感じました。



2月第二例会 講師：渡辺元智氏（横浜高等学校野球部監督）



ふれあいC

2002年度 入会者

認証番号	氏名	認証番号	氏名
427	柴田 晶博	428	藤田しのぶ
429	小野 亨	430	大川 晃司
431	平子 道雄		

2002年度 卒業会員

荒木 昇	鎌田 貴一	菊池 一夫	櫻井 勉
佐々木晴修	芝山佳代子	城田 禎行	當間 安弘
安井 孝二			

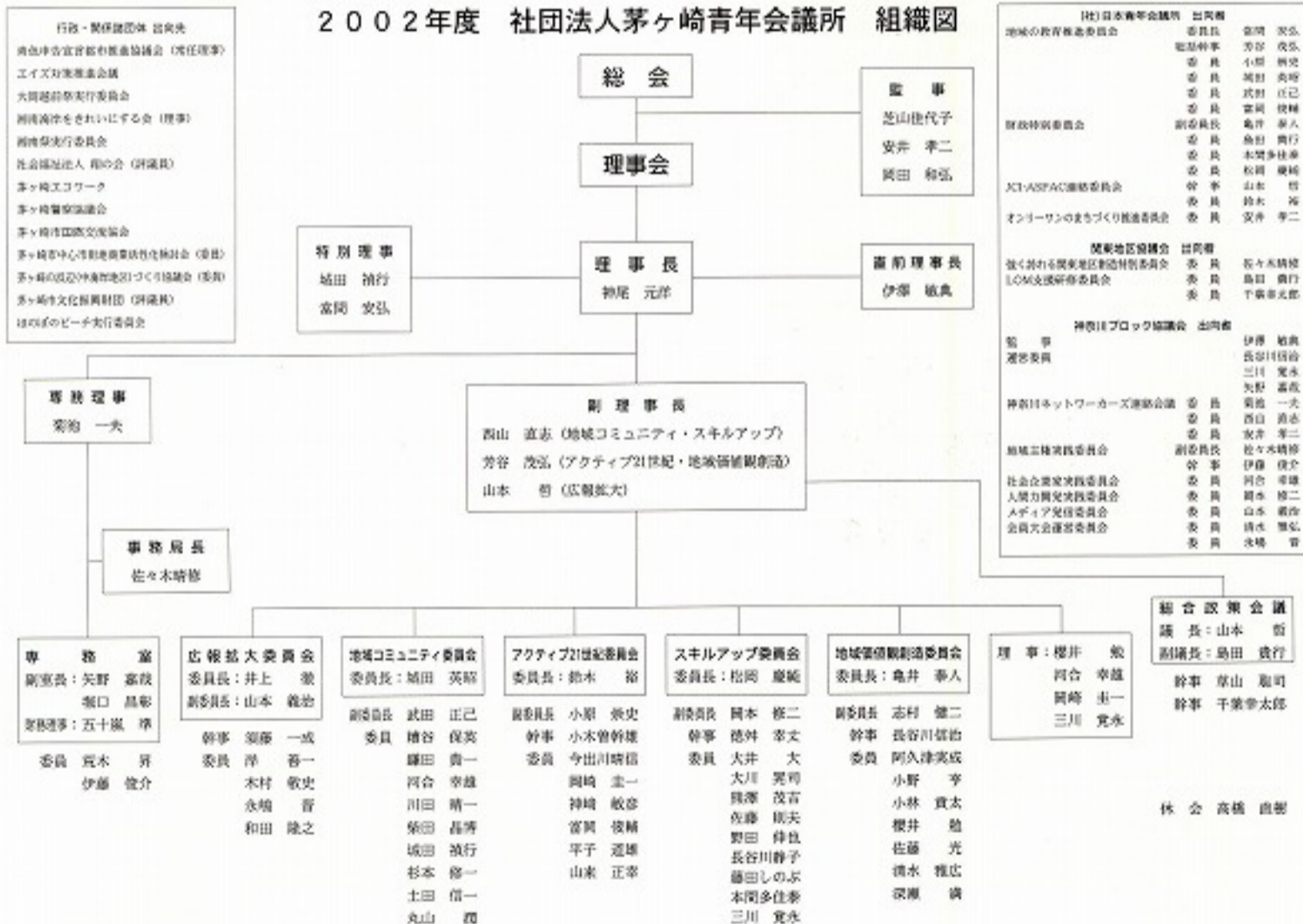
2002年度 褒 章

理事長賞	亀井 泰人
シニアクラブ賞	富岡 俊輔
新人賞	小野 亨
飛躍賞	五十嵐 準
特別賞	長谷川信治
・	専務室
委員会賞	スキルアップ委員会
懇親会特別賞	総合政策会議

2002年度 例会100%出席者

井上 徹	神尾 元洋	亀井 泰人	菊池 一夫
佐々木晴修	鈴木 裕	當間 安弘	西山 直志
長谷川信治	堀口 昌彰	松岡 慶純	三川 寛永
矢野 嘉哉	山本 哲	山本 義治	

2002年度 社団法人茅ヶ崎青年会議所 組織図



例会記録

《1998年度》

- 1/17 新年総会及び新年式典 総務委員会 80.9%
- 2/5 2月第一例会 湘南まちづくり委員会 76.0%
「地域主権てな〜に」
講師：小池厚之氏
1997年 (社)日本青年会議所 地域主権連絡推進会議 議長
- 2/19 2月第二例会 まちづくり会議運営委員会 71.0%
「3D (Thirty) 大作戦」の幕は上がった！
—やるっきゃないよ、みんなで—
講師：磯崎 卓氏、安藤哲史氏、大久保恵市氏、
鈴木 善久氏 BOCJAの会
- 3/5 3月第一例会 青少年開発委員会 70.0%
「みんなで考える青少年の実態」
講師：橋口和雄氏 茅ヶ崎市香川公民館 青少年事業担当
神原 聡氏 神奈川県教育委員会
- 3/19 3月第二例会 アカデミー委員会 66.6%
「自分のアピールの方法を学ぼう」
講師：丸山俊男氏 日本話し方センター
- 4/2 4月第一例会 まちづくり会議運営委員会 70.2%
クロネコヤマト宅急便「小倉昌男」の需要創造の経営
講師：久留一郎氏 株式会社オーディエス 常務取締役
- 4/16 4月第二例会 アカデミー委員会 64.0%
「自分のアピールの方法を身につけよう」
テーブルディスカッション、3分間スピーチ
- 5/7 5月第一例会 総務委員会 65.1%
「心のスタンダードが明日をつくる
〜今、私たちコア世代に出来ること」
講師：金井安彰氏 (社)日本青年会議所 副会長
- 6/1 6月第一例会 交流渉外委員会 63.5%
(社)日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会会員大会
「共創21 奏でよハーモニー」
創ろうかながわオンリーワンストーリー」
- 6/25 6月第二例会 湘南まちづくり委員会 71.0%
4 LOM合同例会
湘南ゲーム
- 7/16 7月第一例会 30周年記念事業委員会 75.8%
「温故知新 語り明かそう茅ヶ崎J.C」
30周年記念ビデオの発表及びOB交流会
- 7/26 7月第二例会 まちづくり会議運営委員会 62.0%
ほのぼの共和国
「茅ヶ崎海岸物語 Do You Know？」
- 8/6 8月第一例会 総務委員会 65.0%
「インターネットで経営開発」
講師：瀬戸川幸雄氏 ホワイトホール代表
- 9/3 9月第一例会 総務委員会 77.0%
定例総会
- 9/15 9月第二例会 音楽のまち創造委員会 83.0%
第4回茅ヶ崎音楽祭
「MY・海(Stage)・湘南'98」
- 10/15 10月第一例会 青少年開発委員会 75.5%
「子供たちの未来のために！」
講師：堀江弘裕氏 高野山真言宗 宝生寺 住職
- 11/5 11月第一例会 さよならLOM'98 交流渉外委員会 75.2%
「茅ヶ崎J.C心は一つ
〜心をもって、心に伝える茅ヶ崎JAYCEEの絆〜」
- 11/26 11月第二例会 アカデミー委員会 83.3%
卒業式
「思い出を胸に、新しい旅立ちへ」

《1999年度》

- 1/17 新年総会及び新年式典 総務委員会 81.0%
- 2/4 2月第一例会情熱づくり渉外委員会73.0%
「家庭人、企業人としてのJAYCEE」
講師：綱谷徹己氏
1999年度(社)日本青年会議所 関東地区協議会 直前会長
- 2/18 2月第二例会 クリエティブ委員会 81.3%
「1999年冬スポーツ野郎 全員集合！」
講師：古前田 充氏 ベルマーレ平塚元監督
- 3/4 3月第一例会 拡大アカデミー委員会 70.5%

「みんなでやろう仲間づくり」

- 3/18 3月第二例会 音楽創造委員会 76.9%
「音楽の事業はJ.C活動の一環だ！」
パネルディスカッション
- 4/1 4月第一例会 総合政策会議 71.7%
「みんなで考えよう。茅ヶ崎J.Cの未来のために！」
テーブルディスカッション
- 4/15 4月第二例会 クリエティブ委員会 72.0%
「あ・い・う・え・エニアグラム！」
講師：後藤節子氏
国際エニアグラム学会ファシリテータ
- 5/20 5月第一例会 拡大アカデミー委員会 74.0%
「J.Cってこんなところよ」
講師：三藤治喜氏
1998年度(社)日本青年会議所 会務担当常任理事
地球市民づくりグループ室 室長
- 6/3 6月第一例会 クリエティブ委員会 72.0%
「使用前→使用后 エニアグラムで旬になる。」
講師：後藤節子氏
国際エニアグラム学会ファシリテータ
- 6/22 6月第二例会 湘南まちづくり委員会 62.8%
4 LOM合同例会
「みんなで創ろう4 LOMの一輪一和一現一話一」
4 LOM合同テーブルディスカッション
- 7/15 7月第二例会 総合政策会議 74.0%
「新市長の夢を語る。21世紀の茅ヶ崎の将来像。」
講師：添田高明氏 茅ヶ崎市 市長
- 8/1 7月第一例会 音楽創造委員会 70.4%
第5回茅ヶ崎音楽祭 My Stage (海) 湘南'99
「湘南シーサイドストーリー」
- 8/5 8月第一例会 情熱づくり渉外委員会 73.4%
「J.C活動でチャンスをつかもう！」
ディベート形式によるディスカッション
- 9/2 9月第一例会 総務委員会 78.5%
定例総会
- 9/16 9月第二例会 湘南まちづくり委員会 68.3%
「もっと！ まわりを見ようよ。」
講演及びパネルディスカッション
講師：熊谷 博氏 茅ヶ崎ハープを聴える会 代表
和田 清氏 社会福祉法人「翔の会」理事
小黒太郎氏 特定非営利活動法人
「ホットクラブ・オブ・大磯・湘南」 専務理事
- 10/21 10月第一例会 クリエティブ委員会 72.0%
「春・夏・旬・冬
—自分の会社・事業・仕事について処方箋を学ぶ—」
講師：水野秀則氏 フューチャーサポート 代表
- 11/4 11月第一例会 総合政策会議 69.0%
「本年度の検証と、次年度へ向けた基本計画の認知」
- 11/18 11月第二例会 拡大アカデミー委員会 86.9%
「感謝を込めて FOREVER34」

《2000年度》

- 1/16 新年総会および新年式典 総務委員会 74.0%
- 2/3 2月第一例会 拡大委員会 66.2%
「必ず役立つ!!やってみようか、拡大活動」
講師：福田幸雄氏 (社)横浜青年会議所OB
- 2/17 2月第二例会 まちづくり会議 62.3%
「我が愛するまち、茅ヶ崎を考える」
講師：添田高明氏 茅ヶ崎市長
原 宣雄氏
神奈川県湘南地区行政センター 企画調整部長
角田 明氏
神奈川県茅ヶ崎市教育委員会 教育指導担当参事
乃羽ひとみ氏 茅ヶ崎市舞台芸術振興協会 副会長
- 3/3 3月第一例会 指導力開発委員会 66.2%
「組織の中で己を磨き、表現する」
講師：藤原徳子氏 ボイスコレクション代表取締役
- 3/16 3月第二例会 経営開発委員会 66.2%

	「転ばぬ先の杖」		
	講師：野口誠一氏 八起会会長		
4/6	4月第一例会 スポーツ例会	交流委員会	52.6%
	「春だ！」Cスポーツ大会		
4/20	4月第二例会	渉外委員会	74.0%
	「本物の愛、本当の強さ、響けアウトローから……」		
	「昔は悪魔、今は天使！」		
	講師：ミッションバラバ 鈴木啓之氏		
	井上 薫氏		
	信田和富氏		
5/18	5月第一例会	指導力開発委員会	64.9%
	「Unlimited Power ～無限の力～」		
	内 容：モチベーションセミナー		
6/1	6月第一例会	拡大委員会	61.2%
	「～じっとしているだけでは、何も変えることはできない～ 今こそ動くとき」		
	講師：松山政司氏 (社)日本青年会議所直前会頭		
6/22	6月第二例会	経営開発委員会	64.1%
	「老舗商法に学ぶ、永続的発展の秘訣」		
	講師：角田庄右衛門氏 旬日影茶屋		
	特チャラレストランシステムズ代表取締役社長		
7/6	7月第一例会	総務委員会	61.5%
	「ホームページは情報の宝庫 上手に活用ホームページ」		
	パネルディスカッションおよび		
	(社)茅ヶ崎青年会議所ホームページ紹介		
7/16	7月第二例会	渉外委員会	74.4%
	第28回神奈川ブロック会員大会		
	「俺たちもネットワークズ『Power of Love』」		
8/3	8月第一例会	指導力開発委員会	56.4%
	「Unlimited Power ～無限の力～」		
	テーブルディスカッション		
9/7	9月第一例会 定時総会	総務委員会	64.6%
9/21	9月第二例会	経営開発委員会	69.6%
	「青年よ、大志を抱け！」		
	講師：堀 威夫氏 ホリプロ会長		
10/10	10月第一例会 4LOM合同例会	渉外委員会	49.4%
	「我ら湘南市民、みんなで育む湘南っ子」		
	～21世紀もよろしくです～		
	4LOM合同テーブルディスカッション		
11/2	11月第一例会	まちづくり会議	54.4%
	「21世紀へのスタート」		
	～大きくはばたけ茅ヶ崎JCのまちづくり～		
	講師：数田 亨氏 (社)茅ヶ崎青年会議所第27代理事長		
11/30	11月第二例会 卒業式	広報アカデミー委員会	70.8%
	「汗と涙のJC魂よ永遠に」		

《2001年度》

1/13	新年総会および新年式典	総務委員会	77%
2/1	2月第一例会	まちづくり委員会	77%
	「家庭を核とした地域社会を考える」		
	講師：角田 明氏		
	神奈川県茅ヶ崎市教育委員会教育指導担当参事		
	渡辺礼子氏 (学)湘南学園幼稚園 保育主任		
2/15	2月第二例会	全体委員会	67%
	「しめそう！思い、こたえよう！信頼」		
3/1	3月第一例会	拡大委員会	71%
	「不言実行」		
3/15	3月第二例会	経営開発委員会	70%
	「各実務に付いてのポイントと必要性を学ぶ」		
	講師：新妻比佐志氏 (社)諏訪青年会議所OB		
4/5	4月第一例会	ひとづくり委員会	70%
	「みんなで考えよう！絆を深めるコミュニケーション」		
	講師：川越康博氏 (社)茅ヶ崎青年会議所第31代理事長		
	小野田賢司氏 (社)藤沢青年会議所OB		
4/19	4月第二例会	全体委員会	58%
	「つたえよう！思い、こたえよう！友情」		
5/17	5月第一例会	まちづくり委員会	73%
	「お父さんのまちづくり」		
	講師：岸 裕司氏 (株)パンゲア 代表取締役		
6/7	6月第一例会	ひとづくり委員会	65%
	「Let's Try EQ」		
	講師：山田昭和氏		

	株EQジャパン キャリア開発部ディレクター		
6/21	6月第二例会	経営開発委員会	63%
	「成功を手にいれろ！！」		
	講師：鶴野沢信一郎氏 (財)神奈川中小企業センター		
	企画情報部人材育成課次長兼課長		
7/5	7月第一例会	総務委員会	66%
	「痛快！IT論」		
	講師：千田和明氏		
	(株)エブリデイ・エクスプレス 代表取締役		
8/2	8月第一例会	ひとづくり委員会	68%
	「自立から進歩へ」		
	講師：辻 秀一氏		
	(有)エミネクロスメディカルセンター センター長		
9/6	9月第一例会 定時総会	総務委員会	66%
9/24	9月第二例会	まちづくり委員会	57%
	「作ってみようよ！お箸と友だち」		
	講師：浦谷兵衛氏 (株)兵衛衛門 代表取締役		
10/19	10月第一例会	経営開発委員会	57%
	「この時代を乗り切るには」		
	講師：泉田 豊氏 (株)泉田事務所 代表取締役		
11/11	11月第一例会	まちづくり委員会	56%
	「友だち増えると楽しいね」		
	講師：斎藤祐治氏 趣芸湘南優悠会 代表		
11/29	11月第二例会 卒業式	総務委員会	82%
	「新たな旅立ち。忘れないでね、茅ヶ崎JC！」		

《2002年度》

1/10	1月第一例会(新年総会)	専務室	78.3%
1/20	1月第二例会(新年式典)	専務室	54.3%
2/7	2月第一例会	広報拡大委員会	60.6%
	「福は、内。招き入れよう！新しい仲間」		
2/21	2月第二例会	スキルアップ委員会	66.2%
	「最強軍団 チームワークの秘訣を学ぶ！」		
	講師：渡辺元智氏 横浜高等学校野球部監督		
3/10	3月第一例会	地域コミュニティ委員会	60.6%
	「皆で作ろう！ジャガイモ」		
3/22	3月第二例会	地域価値観創造委員会	52.1%
	「まちづくりって何？」		
	講師：島崎隆行氏 (社)茅ヶ崎青年会議所OB		
	服部信明氏 (社)茅ヶ崎青年会議所OB		
4/4	4月第一例会	アクティブ21世紀委員会	56.0%
	「Let's enjoy together！」		
4/18	4月第二例会	スキルアップ委員会	68.1%
	「“ゼロからの出発” 起業するは我にあり！！」		
	—自立こそ現状打破の秘訣—		
	講師：加藤力君 物ラ・フォルス 代表取締役		
	物ブルーフォース 代表取締役		
5/6	5月第一例会	地域価値観創造委員会	58.3%
	「発見！鳥帽子岩」		
	講師：榎木太郎氏 (社)茅ヶ崎青年会議所OB		
6/9	6月第一例会	地域コミュニティ委員会	58.3%
	「探って食べてみよう！ジャガイモ」		
6/20	6月第二例会	スキルアップ委員会	53.5%
	「あなた 目的意識を持っていますか？」		
	講師：間 隆浩氏 (社)鎌倉青年会議所OB		
7/4	7月第一例会	総合政策会議	64.8%
	「来てます！第7次」		
	講師：杉崎武彦氏 (社)小田原青年会議所OB		
8/25	8月第一例会	地域コミュニティ委員会	54.3%
	「築こう！『ふれあい“C”』」		
9/5	9月第一例会 (定時総会)	専務室	68.0%
10/17	10月第二例会	スキルアップ委員会	70.4%
	「本気で生きよう！なにかが変わる」		
	講師：丸山浩路氏		
11/14	11月第一例会	地域価値観創造委員会	63.4%
	「合併、どうする茅ヶ崎、そして湘南」		
	講師：河野太郎氏 衆議院議員		
11/21	10月第一例会	広報拡大委員会	64.3%
	「多くの人で、観よう！感じよう！！子どもたちの気持ち」		
12/5	12月第一例会 (卒業式)	アクティブ21世紀委員会	88.6%
	「ありがとうグレート37年組」—光輝くその軌跡—		

創立35周年記念式典

2月9日(日)茅ヶ崎市役所分庁舎コミュニティホールにて、社団法人茅ヶ崎青年会議所創立35周年記念式典が開催されました。

第一部では、2003年度山本哲理事長より35年間の感謝の意と、これからの運動展開についての力強い挨拶ではじまり、添田高明市長

をはじめと致します、多くのご来賓の皆様よりご挨拶を頂戴致しました。また、昨年策定を致しました社団法人茅ヶ崎青年会議所「行動指針」の発表をさせて頂くと共に、35年の歴史をまとめた記念ビデオを上映し、ご臨席賜りました総勢200名を超える皆様に対しまして、運動の歴史と今後の活動についてご報告をさせていただきました。

第二部では、オープニングで茅ヶ崎甚句が流れるなか、茅ヶ崎を代表する祭りであります「浜降祭」のビデオを放映し、料理なども工夫を凝らし「茅ヶ崎らしさ」を十分に感じて頂けたかと思えます。そして全国各地より駆けつけて頂きました、来訪J Cによる2003年度サマーコンファレンス、2004年度全国会員大会水戸大会、2004年度J C I世界会議福岡大会のPRも行われ盛大に挙行することが出来ました。

当日は、添田高明市長をはじめと致します多くのご来賓の皆様、同志であります社団法人日本青年会議所山田敏紀専務理事をはじめと致します来訪J Cの皆様、そして今日までの社団法人茅ヶ崎青年会議所の歴史を築き上げてこられました、多くのシニアクラブの先輩方のご出席のもと、創立35周年記念式典を開催できましたことに、心より感謝を申し上げます。

我々、社団法人茅ヶ崎青年会議所会員一同、この35周年という大きな節目を契機に更なる飛躍に向け、精一杯活動していく所存でございます。

2003年度 社団法人 茅ヶ崎青年会議所
創立35周年記念式典
～ 飛躍 ～

式典看板「飛躍」



山本理事長



添田市長



スポンサーJ C
三荒平塚J C理事長



全国会員大会水戸大会PR
(水戸J C)



サマーコンファレンスPR
(日本J Cサマーコンファレンス運営特別委員会)

35周年記念事業 (サザンビーチフェスタ'03)

LOVE and PRIDE ～サザンビーチに誇りと愛情を育もう～

1. 開催趣意

本年、社団法人茅ヶ崎青年会議所は創立35周年を迎え、青年会議所メンバーが一丸となって取り組める運動について、昨年より、過去の様々なまちづくり事業を検証して参りました。そして、海がもっとも「茅ヶ崎らしい」場所の一つであり、社団法人茅ヶ崎青年会議所として、長年、海の事業に取り組んできた経緯の中で、もう一度、象徴的な場所での事業に取り組みたいとの結論に至り、事業のテーマを「LOVE&PRIDE ～誇りと愛情をサザンビーチに育もう～ 短い夏に賑わいを見せるサザンビーチ。そこに、集う人たちが豊かな自然、心暖まる人との触れ合いを感じ、この海を愛し、この海を誇れるものにしていきたい。」と定め、35周年記念事業として「サザンビーチフェスタ'03」を開催する運びとなりました。このテーマにもとづき以下の通り3つの目的をかかげました。

1. 快適な自然環境の創造
2. 快適な施設環境の創造
3. ふれあいあふれるビーチの創造

この事業の目的達成に向けた実行委員会組織を立ち上げ、3部会がそれぞれのテーマにもとづき企画立案をして事業を推進しました。

2. 企画概要

【事業名】サザンビーチフェスタ'03

【主催】(社)茅ヶ崎青年会議所

【後援】茅ヶ崎市、茅ヶ崎市観光協会

茅ヶ崎商工会議所

(財)かながわ海岸美化財団

【協力】茅ヶ崎海水浴場事業協同組合

ほのぼののビーチ実行委員会

【実施日時または期間】

賑わう海水浴場

2003年8月10日(日) 9:00～17:30 (予定日9日雨天のため順延)

【実施場所・会場】サザンビーチちがさき

【当日来場者数】約25,000人、天候晴れ。(茅ヶ崎市観光協会発表)

海水浴場開催期間2ヶ月の集客 180,020人 (前年比 ▲43%)

【企画内容及び報告】

①快適な自然環境の創造～ビーチにおける催し(砂像をつくろう！)

海水浴場に、当日のシンボルとなるような砂像を製作し、来場者に楽しんでもらいながら、海岸美化についての認識を深めてもらいました。また、事前及び当日に参加者を募集し、砂像を製作してもらいました。同時に、環境美化に関するパネル展示なども行い、これらを通して楽しみながら、海岸のゴミ問題や環境について考えてもらいました。





▲メイン砂像制作風景

▲一般の方にも参加して楽しんでいただきました

▲環境美化、条例周知ポスターや茅ヶ崎の砂についてのパネル展示



◀本年度スマイル茅ヶ崎
によるビーチクリーン



一般参加者▶
御協力ありがとうございました！

②快適な施設環境の創造～地下道による催し（“てがた”を押そう！）

【企画内容】 イベント当日までに装飾の終了した国道134号線中海岸地下道において、当日の来場者にハンドペインティングをしていただきました。9時40分地下道海水浴場側入口において行われた除幕式を皮切りに、500名を超える来場者が“てがた”を残しました。落書きだらけだった地下道をボランティアの力で綺麗にするという切り口から、大手新聞社やNHKの取材を受けるなど、落書きが全国的にも深刻な問題であることが浮き彫りになりました。



▲テープカット



▲地下道催し当日までの準備の様子

▲ケイカルバンによる壁面補修





▲行列ができるほどの人気でした。



▲参加者の子供の手水性ペンキを塗るところです。



▲自分のてがたにサインをしています。

③ふれあいあふれるビーチの創造～ステージによる催し（ふれ”愛”あふれるメッセージの発信）



▲開会式 AKE KUBOTA BAND によるテーマソング”LOVE and PRIDE”で開幕



▲開会式 服部市長

本年初めて、茅ヶ崎市観光協会と茅ヶ崎海水浴場事業協同組合の管理のもと、海水浴場開設期間中、常設ステージが設置されました。これは、市民の方へ音楽や踊り等の発表の場として一般に有料開放し、ビーチの活性化と誘客効果の増大を図るものでした。イベント当日はこのステージを活用し、クリーンアップの呼びかけやコンサート等を行い、魅力あるビーチの雰囲気盛り上げると共に、来場者との一体感を醸成しました。



▲司会：大山姉妹（左から姉ミさん、妹理乃さん）



▲サザンオールスターズ25周年記念イントロ当てクイズ



▲フラダンス



▲ヨーヨーパフォーマンス（原 大地さん）



▲大場盛子（おおばせいこ）ライブ



▲テミヤンライブ

ステージ設置の経緯

社団法人茅ヶ崎青年会議所では、1995年より5年間にわたり茅ヶ崎音楽祭を開催しました。それは“文化を切り口にしたまちづくり”をテーマに議論し、“この気候、この風景、この気質から生まれた湘南サウンドをテーマに音楽文化を創造し、市民がいつまでも音楽に親しめる環境を創りたい。市民が誇れるようなまちになっていくような文化都市づくりの一翼を担っていこう。”ということが挙げられました。

サザンビーチフェスタ'03では、“ふれ愛あふれるメッセージの発信”を通して、誇りと愛情を育てていただく様々な催しを企画しました。その一方で、ステージ常設期間に市民の皆様が音楽等の催しを通じてコミュニケーションを深め、そこから茅ヶ崎の音楽文化が創造されていくようなハードの提供の一翼を担うという狙いもありました。

そうした思いをこめ、行政の皆様と一体となり、多くの協賛者様のご理解とご協力を得て、サザンビーチで初めて常設ステージの設置が実現いたしました。

茅ヶ崎市条例周知運動について

2003年度社団法人茅ヶ崎青年会議所では、茅ヶ崎市条例「茅ヶ崎市民の美しく健康的な生活環境を守る条例（平成14年6月1日施行）」の周知活動を行ないました。この運動を通じて、環境美化について市民が身近なものとして感じていただき、『自分たちのまちは、自分たちでつくろう（守ろう）！』という意識の啓発となることを目指しております。具体的には、条例周知のためのステッカーを製作し、行政や茅ヶ崎市内の企業の所有車両に貼っていただく等のご協力を頂いております。サザンビーチフェスタ'03においても環境としての取り組みの一環として、周知ポスターの掲示やその呼びかけを行ってまいりました。



▲条例ポスター

広報

この事業では、開催告知から開催後まで多くのメディアに取り上げられました。特に、地下道の装飾については、全国的問題となっている落書き問題とリンクした形で大手新聞社やNHKでも取り上げられました。社団法人茅ヶ崎青年会議所の今後の「まちづくり」や活動のPRを考える上でも大きな効果をおげることができました。



特別会員紹介

尾竹 敏雄	(1928/05/26)		安齊 克彦	(1940/08/28)	(有)芝亀園緑化
小林袈裟雄	(1928/12/08)	茅ヶ崎不動産(株)	山口 健	(1940/09/07)	神奈川石油(株)
石山 勝	(1929/11/03)	不動産管理	桜井 明彦	(1941/01/01)	(宗)第六天神社
森 勝行	(1930/03/10)	(有)茅ヶ崎館	森谷 忠晴	(1941/04/07)	(有)湘南商会
高田 宜昌	(1930/05/07)		永野 良夫	(1941/06/28)	第一カッター興業(株)
下里 勇三	(1930/07/10)	下里歯科医院	藤田 篤与	(1941/08/03)	(株)フジックス
加藤 一郎	(1932/03/13)	相模興業(株)	小沢 克彦	(1941/09/24)	(有)小沢酒店
松土 弘	(1932/04/01)		石井 鴻平	(1941/11/23)	(株)大成企画
亀井 文夫	(1932/10/17)	亀井工業(株)	池亀 武士	(1941/12/01)	木村土木(株) 湘南営業所
武富 和夫	(1933/09/25)	武富動物病院	七條 年雅	(1942/01/10)	湘南包装工業(株)
愛甲 重信	(1934/01/17)	(株)けいせつ	熊沢 信行	(1942/02/08)	ショコア産業(株)
山田 英夫	(1934/02/15)	茅ヶ崎石油(株)	宮澤 靖磨	(1942/02/16)	宮沢紙工(株)
水谷和一郎	(1934/08/12)	水谷建設(株)	熊澤 孝之	(1942/03/01)	日本プレス工業(株)
井上 明次	(1934/09/05)	井上企画	嵯峨野 昇	(1942/03/29)	(株)サガノ
伊藤 嘉	(1935/01/05)	東信電子(株)	内田 正勝	(1942/04/04)	(株)内田製作所
小島 進	(1935/01/18)	富士興産(有)	原 棋一郎	(1942/04/23)	(有)原不動産
小田切 武	(1935/09/16)	(有)湘南ダンレックス	長田 洋二	(1942/06/28)	(有)ダスキン茅ヶ崎
坂野 泰巨	(1936/01/27)	(宗)西運寺	小川 勝	(1942/09/07)	(株)加藤製作所
杉本 行廣	(1936/02/20)	司法書士・土地家屋調査士杉本行廣事務所	吉野 久紘	(1942/11/04)	(有)吉野商事
水澤 喜朔	(1936/05/15)	水澤商事(株)	山上 信夫	(1943/06/20)	(有)M・トップ
神山 藤雄	(1936/06/28)	富士ゼロックス(株)C課	武藤 公一	(1943/09/29)	(株)武藤電気商会
富田 茂臣	(1936/09/09)	(有)ムラサキ	田中 信昭	(1943/11/23)	(株)トーケルリンク・インターナショナル (LL)
熊沢 秀雄	(1936/09/15)	熊沢醸造(株)	古谷 英一	(1944/01/01)	三樹インテリア
米山 英美	(1936/09/19)	(株)湘南ベンダー	添田 靖忠	(1944/01/30)	添田塗装店
石井喜代治	(1937/08/27)	東京海上火災保険(株)石井代理店	原 正道	(1944/02/02)	(株)たまや
鈴木 信男	(1937/10/27)	相模興業(株)	根岸 孝臣	(1944/02/05)	アビア 87 (ハナ)
大村日出雄	(1937/11/20)	大村紙業(株)	渡辺 勝	(1944/02/25)	(株)イフ・インテリア
一杉 克彦	(1937/12/04)	(株)大一製菓	石田 忠勝	(1944/02/27)	(有)清耕園
山田 祥宏	(1938/02/13)	(株)マルゼン	相澤 實	(1944/06/12)	(株)アイザワ写真館
田中 晴男	(1938/10/29)	田中自転車店	小山 俊一	(1944/10/18)	(株)やまなか園建設
千葉 幸記	(1939/01/15)	(株)ふおと神奈川	稲岡 輝雄	(1944/12/17)	稲岡ハウジング(株)
加賀妻憲彦	(1939/08/24)	(株)加賀妻工務店	古谷 義一	(1945/01/12)	(株)サムシステム
山上 武久	(1940/03/16)	(有)ヤマガミ	高田欣之介	(1945/01/13)	添田塗装店

新倉 征行	(1945/04/05)	吉野植物園(株)	小島 忠男	(1949/01/28)	小島忠男税理士事務所
守家 弘士	(1945/09/07)	(有)山田屋酒店	内田 和雄	(1949/03/01)	(有)内田建具店
豊田 陽二	(1945/10/25)	(株)トヨーサービス	井上 光一	(1949/03/09)	井上工業(株)
水沢 昇	(1946/01/01)	(有)オートプラザ水沢	井上 景暁	(1949/05/01)	(宗)善福寺
三堀 満	(1946/03/06)	三堀建築測量登記事務所	青木 茂	(1949/07/07)	
一杉 繁	(1946/06/12)	(有)ウェルカム	内山 良夫	(1949/07/29)	内山測量登記事務所
栗栖 秀之	(1946/07/18)	(株)クリスモータース	森田 博隆	(1949/08/07)	(株)湘南リビング新聞社
矢島 二郎	(1946/07/26)	(株)矢島ハム	城田 元雄	(1949/08/14)	暁建設(株)
下里 淳二	(1946/10/14)	茅ヶ崎自動車工業(株)	杉崎 一雄	(1949/08/29)	茅ヶ崎損害保険事務所
薬品 孝久	(1947/01/15)	(株)黄色いりぼん	石井 三六	(1949/09/01)	あづま自動車工業(株)
中川 幸雄	(1947/02/02)		菅原 一則	(1949/09/18)	菅原一則税理士事務所
小嶋 輝雄	(1947/03/12)	湘南信用金庫金融商品部	落合 正博	(1949/09/23)	相模開発(株)
横森 柁樹	(1947/03/25)	(有)富士宝石	大坪 由男	(1949/10/02)	由紀精密工業(株)
竹村 慶三	(1947/03/29)	(株)第一勧業銀行	脇 洋一郎	(1949/10/15)	(有)脇材木店
松本 淳一	(1947/04/02)	(有)松本製作所	三橋 孝	(1949/10/20)	(有)三橋硝子アルミ建材
金森 孝一	(1947/04/23)	魚民支店	小林 健二	(1949/10/27)	(有)茶商『小林園』
岡田 哲也	(1947/05/12)	(有)アートオカダ	金成 篤樹	(1949/11/30)	和敬堂針灸院『和敬堂薬局』
古川 信吾	(1947/05/31)	(有)湘南アリア	富田 敏史	(1950/02/16)	(有)湘南テント産業
古谷 裕彦	(1947/07/15)	(有)古谷工務店	峯村 幹夫	(1950/03/12)	峯村ホーム(株)
新倉 弘保	(1947/08/04)	(株)エル・エー・ディー	小川 博美	(1950/05/10)	ヘアサロン・ヒロ
渡邊 和利	(1947/08/08)	(株)渡辺特殊食品	神林 茂樹	(1950/06/09)	(有)神林商店
乃羽ひとみ	(1947/08/10)	乃羽バレエ団・乃羽バレエスクール	加藤 勝明	(1950/08/10)	大勝建設(株)
明知萬之助	(1947/08/31)	(有)みずほ住設	白井二三夫	(1950/08/12)	(有)白井建築
出山 和夫	(1947/10/11)	(有)セルテック湘南	原田 進	(1950/08/28)	茅ヶ崎東光電気(株)
前田 積	(1948/01/21)	藤沢プロパン瓦斯(株)	飯田 敏夫	(1950/09/09)	(有)飯田米穀
小山 道雄	(1948/06/25)	(有)石橋小山酒店	三堀 昇	(1950/09/29)	(有)佐藤国土建
三堀 勇	(1948/06/29)	三堀造園	小沢 洋	(1950/10/13)	大和不動産(株)
木南 真善	(1948/07/08)	(宗)円蔵寺	宮井 芳昭	(1950/11/05)	三井生命(株)湘南クロスセリンググループ
大山 茂己	(1948/07/17)	稲岡ハウジング(株)	渡辺 茂樹	(1950/12/09)	司法書士 渡辺茂樹事務所
伊藤 徹	(1948/08/09)	(有)イトウ靴店	勝又 有司	(1950/12/11)	英高物産(株)
古池谷次男	(1948/08/27)	(株)古池谷	佐藤 孝行	(1950/12/22)	淡島空調(株)
都築 和男	(1948/10/12)	(有)サンヒーティング	皆川 芳秀	(1951/01/21)	皆川酒店
竹中 義康	(1948/11/23)	バンブープリント	小島 民久	(1951/03/07)	(有)小島瓦店
出口 定幸	(1949/01/02)	(有)出口商店	島崎 隆行	(1951/03/31)	(有)インテリアシマザキ
斉藤 信二	(1949/01/22)	横浜ビルシステム(株)藤沢営業所	杉山 共延	(1951/07/24)	(有)清耕園

中村 利之	(1951/07/26)	(株)横浜銀行本店融資部	井上 悦男	(1955/06/30)	井上工業(株)
小島 昇	(1951/08/16)	セブンイレブン茅ヶ崎円蔵店	大久保義雄	(1955/11/23)	(有)大久保工務店
永島 正幸	(1951/12/06)	永島正幸税理士事務所	岡村 孝	(1955/12/31)	(有)オカムラ木工所
中田 泰司	(1951/08/28)	三和石産(株)	木村 欲廣	(1955/01/10)	木村歯科診療所
井坂 和美	(1951/09/21)	イン・ザ・チップス	高橋 一裕	(1955/06/30)	飯田屋酒店
代田 千秋	(1951/09/28)	石川生花・造園土木	鳥居 久訓	(1955/05/23)	(有)萩園ふとん店
鈴木 康之	(1951/12/18)	(有)S・S・P	樋口 崇巳	(1955/08/31)	(株)アシスティル
佐藤 正夫	(1951/12/28)	(株)浜田屋	水沢 祐二	(1955/04/24)	水沢印刷所
降旗 貴史	(1952/01/23)	(株)ヴィンテセッテ	阿部川勝義	(1956/05/22)	(株)アサ
今西 英一	(1952/03/03)	今西土地家屋調査士事務所	大久保 泰	(1956/05/07)	内科 大久保医院
佐藤 昭吾	(1952/03/07)	(有)和装社	金指 一郎	(1956/03/18)	金庫屋商工(株)
小川 敬	(1952/03/21)	(有)平塚製作所	小林 勝義	(1956/08/13)	小林商店
小沢おさむ	(1952/07/01)	大和不動工業(株)	出口 敬純	(1956/02/25)	出口商事(株)
堀村 昌信	(1952/07/18)		安江 伸二	(1956/02/25)	(株)マルヤス
辻 衛	(1952/10/26)	(有)HANA E	青木 隆幸	(1957/03/12)	(有)和装社
横山 立郎	(1952/11/19)	(株)国立	太田 誠	(1957/02/09)	社会保険労務士太田誠事務所
宇野 輝夫	(1953/06/01)		菅原 英則	(1957/01/26)	菅原一則税理士事務所
小川 英男	(1953/08/04)	(有)小川板金工業	藤間 一彦	(1957/10/10)	藤間建築
小又 賢二	(1953/09/29)	小又測量登記事務所	中原 利幸	(1957/04/08)	中原電設(株)
加藤 盛久	(1953/11/09)	相模中小企業労務福祉センター	大高 誠	(1958/07/27)	(有)大高塗装店
林崎 一雄	(1953/03/04)	(株)コンバート技建	岡崎 保	(1958/10/05)	(株)丸岡屋
平牧 清	(1953/10/26)	プレスサービス平牧(自営業)	川越 康博	(1958/04/06)	ファーストプランニング生損保代理店
米山 彰	(1953/09/27)	(有)パシフィック・エージェンシー	小嶋 英一	(1958/02/17)	(株)小嶋左官工業所
伊熊 正寛	(1954/01/30)	(有)いくまさいくる	小嶋 文雄	(1958/12/15)	(有)奈良左官店
稲本 肇	(1954/04/29)	(株)由紀精密工業	鈴木 泰三	(1958/09/18)	茅ヶ崎不動産(株)
数田 亨	(1954/07/12)	一級建築士事務所(株)湘南Toru工房	関田 達之	(1958/04/13)	(株)米山園
清元 俊郎	(1954/07/07)	(有)さがみや	手塚 良治	(1958/01/25)	(有)手塚モータース
柴 清志	(1954/08/02)	(株)サフラン	野崎 幸夫	(1958/02/07)	(有)プリムローズ
清水 賢一	(1954/10/25)	(株)多田造園	東田 昭治	(1958/08/13)	(株)昭栄建装
永友 敦	(1953/12/28)	日産サニー湘南販売(株)	藤原 琢也	(1958/09/05)	(株)トーヨーテクノ
野崎 恵一	(1954/06/04)	植岩園	松崎 浩	(1958/04/12)	湘南リビング(株)エネスタ茅ヶ崎
伏見 康博	(1954/10/24)	(有)パークサイド	丸山 孝明	(1958/12/09)	マルヤマ接骨院
松本 守正	(1954/09/17)	新生薬品(株)	山仲 明美	(1958/01/29)	(有)コースト
脇 吉昭	(1954/06/09)	(株)大成企画	湯山 文夫	(1958/03/25)	(有)湯山自動車
出岡 匠	(1955/04/21)	総合美術「春陽堂」	伊藤 均恒	(1959/04/14)	I E 一橋学院 藤沢善行校

亀井 信幸	(1959/01/24)	亀井工業(株)	亀井 勇良	(1961/01/19)	亀井工業(株)
桐山 章伸	(1959/09/16)	(有)さがみや	児玉 明	(1961/04/03)	(株)児玉通信
斉藤 誠	(1959/01/11)	東海接骨院	城田 孝夫	(1961/07/17)	高田石油(株)
桜田 敏哉	(1959/07/02)	(有)ガクトウ	服部 信明	(1961/06/05)	茅ヶ崎市長・清風学会
佐藤 正朗	(1959/10/13)	(株)エフ・エム・シー	森 孝裕	(1961/10/24)	(有)モリサイクル 茅ヶ崎店
城田 達美	(1959/05/03)		荒木 昇	(1962/12/09)	(株)トーヨーテクノ
安武 勝	(1959/05/16)	(有)湘南クラブ	鎌田 貴一	(1962/05/09)	(有)柏屋
池田 雅一	(1960/09/25)	(株)エスケュー	菊池 一夫	(1962/11/13)	(株)トーヨーテクノ
石田 幹夫	(1960/01/03)	(有)清耕園	櫻井 勉	(1962/08/30)	桜住機(株)
内田 正人	(1960/02/19)	(有)内田商会	佐々木晴修	(1962/04/04)	エンセキ通商(株)
榎木 太郎	(1960/08/16)	榎木事務所・茅ヶ崎市議会議員	芝山佳代子	(1962/01/01)	エアリンク湘南(株)シーズクリエイト
山岸 幸子	(1960/08/12)	(有)ガイア湘南	城田 禎行	(1962/04/13)	城田工業(株)
横山 貢	(1960/09/12)	(有)なんどきコーポレーション	當間 安弘	(1962/12/10)	チガサキレンタル(株)
伊藤 和明	(1961/06/04)	(有)アーガス	安井 孝二	(1962/10/05)	ソニー生命保険(株)
小澤 寛	(1961/06/16)	大和自動車工業(株)			

2003年10月末日現在

物 故 会 員

氏 名	永 眠 年	氏 名	永 眠 年
神戸 孝	1969年	小野間 桂	1999年
横田 悦雄	1972年	山口 達郎	2000年
内田 安孝	1976年	青木 信二	2000年
伊藤 司	1995年	原 一郎	2001年
曾禰 秀次	1997年	加藤 謹吾	2002年
松本 康夫	1997年	添田 高明	2003年

正会員紹介

阿久津実成	(1963/02/07)	(有)阿久津工務店	志村 健二	(1971/05/22)	(有)不動産情報センター
五十嵐 準	(1967/04/17)	(株)大成企画	城田 英昭	(1966/01/28)	城田税理士事務所
伊沢 敏典	(1963/10/15)	(株)湘南いざわ	杉本 修一	(1971/05/17)	(有)杉本自動車
伊藤 俊介	(1973/02/26)	(有)司自動車工業	鈴木 裕	(1968/05/17)	(有)ヴェルリース
井上 徹	(1963/05/12)	ダスキン井上	須藤 一成	(1965/07/17)	(株)タウンニュース社
今出川晴信	(1964/02/24)	(株)今出川工務店	高橋 直樹	(1969/09/10)	(有)トータルボディケア
大井 大	(1968/06/10)	(有)フォトグラフィック大井	武田 正己	(1967/01/04)	(株)ランテック
大川 晃司	(1967/08/16)	(有)ナッティーヘアー	千葉幸太郎	(1971/01/16)	(株)ふおと神奈川
大熊 英一	(1969/07/22)	(株)EMコーポレーション	土田 信一	(1973/02/24)	湘南オート販売
岡崎 圭一	(1967/02/09)	しょうなんROOF	徳舛 幸丈	(1966/05/14)	古河産業(株)
岡田 和弘	(1965/10/13)	コーストタバーン	富岡 俊輔	(1965/05/20)	(株)トミーワークス
岡本 修二	(1974/11/24)	(有)山友	永嶋 晋	(1963/01/28)	嶋 電 機
小野 亨	(1973/07/17)	(有)ファインプロダクト	永田 輝樹	(1964/01/19)	茅ヶ崎市議会議員
風間 哲郎	(1963/09/27)	TDK(株)	西山 直志	(1963/04/05)	西山精工(株)
糟谷 保英	(1967/12/31)	下島歯科医院	長谷川静子	(1966/02/14)	(有)長谷川書店 ネスパ茅ヶ崎店
神尾 元洋	(1964/01/12)	(株)住宅流通センター	長谷川信治	(1968/04/07)	(有)湘南デュポット
亀井 泰人	(1965/08/31)	亀井工業(株)	平子 道雄	(1964/02/06)	ブルーベル石材
河合 幸雄	(1964/05/29)	(有)三河屋	深瀬 満	(1970/09/20)	ちゃりんこや
川田 晴一	(1963/06/30)	(有) イーツ	藤崎 裕子	(1972/06/09)	vivienne.co
神崎 敏彦	(1968/09/05)	(株)テイケーホームカンパニー	藤田しのぶ	(1964/04/24)	さくらガーデン薬局
岸 善一	(1966/02/18)	(有)きしや	堀口 昌彰	(1968/12/30)	ピストン堀口道場
木村 敬史	(1969/02/26)	(有)木村ハウビス リファイン松林	本間多佳泰	(1964/10/19)	本間行政書士事務所
草山 聡司	(1967/10/18)	衣料品のみどりや	松岡 慶純	(1967/04/01)	(有)アクシス
熊澤 茂吉	(1969/01/25)	熊澤酒造(株)	丸山 潤	(1967/02/23)	エムスリー(株)
小木曾幹雄	(1965/01/15)	ソニー生命保険(株)	三川 覚永	(1971/11/23)	浜一塗装店
小原 崇史	(1974/09/03)	(有)小原興業	矢野 嘉哉	(1967/02/24)	矢野電気工事(株)
小林 貢太	(1978/02/09)	祭典サービス(株)	山来 正幸	(1969/07/08)	(有)山来創建
小山 博樹	(1973/07/09)	(株)やまなか園建設	山本 勝弘	(1963/07/02)	(株)茅ヶ崎魚市場海岸販売所
佐藤 則夫	(1969/11/26)	(株)サトウ	山本 哲	(1969/11/22)	(株)勝栄工業
佐藤 光	(1969/06/05)	神奈川県議会議員(株)日本料理 松屋	山本 義治	(1974/05/21)	(有)山本ポンプ工業
柴田 晶博	(1968/09/09)	(有)サンヒーティング	芳谷 茂弘	(1963/10/19)	翼システム(株)
島田 貴行	(1967/12/15)	(株)島田工務店	和田 隆之	(1973/08/22)	三和建材(株)
清水 雅広	(1964/11/22)	(有)清水建築工房			

初めに、この記念誌を作成するにあたり、茅ヶ崎市長、茅ヶ崎商工会議所会頭を初め、関係者の方々に置かれましては、ご多忙中にもかかわらず、ご祝辞を賜り誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

本年度、創立35周年としましては、2月の式典、交流会の開催、8月のサザンビーチでのサザンビーチフェスタの二つの事業を軸に、この記念誌の発行までを記念事業として取り組んで参りました。

事業を向えるにあたりましては、昨年、策定された行動指針を踏まえ、次年度体制よりメンバーが過去の記録と資料を読み返し、全体事業として、メンバーが一丸となり、35年の歴史と社会開発事業の理解と議論に多くの時間を費やし、組み立てて参りました。

そして、この記念誌を作成するにあたりましては、

1. 35年間の社会開発運動の流れを理解しやすくし、今後の資料として活用できるようにする。
 2. 直近5年間の詳細な記録を記載する。
 3. 35周年記念事業である、式典、交流会、サザンビーチフェスタを報告する。
- 以上、3点を発行の目的として編集致しました。

最後に、この記念誌が、今後の社団法人茅ヶ崎青年会議所の運動の一助となり読み返す一冊となりますよう、実行委員会・事務局一同心より念じております。

平成15年11月20日

35周年実行委員長 伊 澤 敏 典

社団法人 茅ヶ崎青年会議所

創立35周年記念誌

発行日 2003年11月30日

発行 社団法人 茅ヶ崎青年会議所

編集 35周年実行委員会

印刷 株式会社 大成企画

